

ごあいさつ

三井住友建設技術研究開発報告第 14 号の発刊に当たり、ご挨拶申し上げます。

2016 年度から始まる第 5 期科学技術基本計画の中では、ものづくり革命や人材育成の強化の重要性が挙げられています。また、政府の推し進める「働き方改革」は人材育成とも深く関わり、担い手確保の重要な要素と考えられます。一方、本年度だけを見ても熊本地震や台風被害、大火災などの災害が発生し、安心安全な社会づくりや国土の強靱化に対する期待はますます高まっていると言えるでしょう。

このような背景の中、建設業においては労働力不足、技術者不足が深刻化して来っており、担い手の確保と同時に省力化や省人化が大きな課題となっています。このため、ICT を活用した施工管理やプレキャスト技術などによる省力化省人化施工は、生産システムの改革と品質確保を同時に達成できる方法として、多くの注目を集めており、技術開発においてもこれらに関連した領域のテーマにより注力されてきています。

本号では、「プレキャスト床版継手構造」「異種強度コンクリートが介在する耐震壁」などの生産性向上技術、「液状化による側方流動対策」「免震改修建物の動特性評価」など地震防災関連技術、「スマートデバイスを用いた施工管理」など ICT 活用技術、「超低収縮・超高強度コンクリート」や「水上太陽光フロートの開発」などの環境・エネルギー技術など合計 13 編の論文を掲載しています。

弊社では、2016 年度よりはじまる 3 カ年で中期経営計画を定め、本年度はその初年度にあたる年です。この中期経営計画では、「生産システムの改革」と「人材確保・育成・社員活力の向上」をフォーカステーマに掲げて活動を行ってきておりますが、技術開発部門におきましても上記技術開発を通して経営目標を達成するとともに安心・安全な社会の実現に向けて貢献していきたいと考えております。

今後とも皆様のご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

技術研究開発報告を多くの方々にご覧頂き、ご批評を賜れば幸いです。

2017 年 2 月

技術研究所長  
谷垣正治